



# ゆに わーるど

2009/ I  
Vol. 31

UNIDO ITPO Tokyo

## 2008年の活動状況

世界の国から  
ウガンダ共和国



料理用バナナのマトケをむく子ども達

## 「国連デー 2008」で UNIDO の活動を紹介

昨年10月24日、国連大学にて「気候変動～私たちにできること～」をテーマに様々なイベントが催されました。「国連デー」は、1945年10月24日に国連憲章が発効したことから設けられた国連の記念日です。当日はテーマに沿った講演やパネルディスカッションの他、パートナー企業

の協力を得て、洋服・スポーツグッズのリサイクル回収、子供たちが遊びながら気候変動について学ぶショーやクイズなどの参加型イベントも実施されました。UNIDOは国連機関紹介ブースに参加し、パネルやポスターを用いて気候変動への取り組みを紹介しました。



# 2008年の活動状況

2008年1月～12月の一年間における UNIDO 東京事務所の主な活動をご紹介します。

## ① 投資・技術移転専門官の招聘

途上国より投資・技術移転促進専門官を日本に招聘し、セミナーの開催、企業・団体との個別面談等を通じて、現地のビジネス環境や個別の投資・技術案件の紹介などを行ないました。昨年度は下記7カ国、8名が参加しました（氏名、所属団体、招聘期間、重点分野の順に記載）。



### ラオス

マノトーン・ヴォンサイ氏  
ラオス計画投資省 投資促進局次長  
3月10日～21日  
エネルギー、鉱物資源、農産品加工



### モザンビーク

アントニオ・ルイス・マカモ氏  
モザンビーク投資促進センター（CPI）投資促進部長  
4月28日～5月2日  
鉱物資源、食品加工、CDM、バイオ燃料



### タンザニア

ジョン・マシュー・ムナリ氏  
タンザニア投資センター（TIC）  
3月31日～4月11日  
観光、農産品加工、バイオ燃料、鉱物資源



### マリ

アルセーニ・イッサ・マイガ氏  
マリ エネルギー・鉱物・水資源省  
太陽エネルギー再生可能エネルギー国立センター  
ジェットロファ・プロジェクト長  
7月7日～11日 バイオ燃料



### バングラデシュ

ジャラルル・ハイ氏  
バングラデシュ投資庁（BOI）外国投資担当部長  
7月14日～29日  
繊維、靴、農産品加工、ソフトウェア開発



### ウガンダ

イッサ・ムカサ氏  
ウガンダ投資庁（UIA）投資促進部長  
9月8日～19日  
農産品加工、繊維、エネルギー、鉱物資源

### インド

（左）アショク・ミーナ氏  
オリッサ州産業振興・投資公社専務理事  
（右）アシシ・クマール氏  
オリッサ州投資・輸出促進事務所（OIEPO）デリー事務所投資促進官  
4月7日～11日  
鉄鋼、非鉄金属、インフラ整備、CDM



## ② 投資促進セミナーの開催

インド、バングラデシュ、ラオス、ベトナム、モンゴル、アルゼンチン、中東、エジプト、キルギス、トルコ、ルーマニア、ケニア、モロッコ、モーリタニア、ミクロネシア連邦、チェコを始めとする国や地域を対象とした計20件の投資促進セミナーを政府関連機関、業界団体などと協力して開催しました。

## ③ アフリカ・バイオフィューエル・フォーラム

在京アフリカ大使館や日本政府関係諸機関、民間企業やNGOと情報交換を行なう場として一昨年立ち上げた「アフリカ・バイオフィューエル・フォーラム」の活動を2008年も継続して行いました。2月15日に国内外から識者を招いて外務省と共催したシンポジウム「アフリカにおける持続可能な開発のための環境とエネルギー」には、35のアフリカ大使館員を含む241名が参加。また、7月11日、横浜にて開催された第4回会合には、101名が参加しました。

アフリカ・バイオフィューエル・シンポジウム (2/15)





インド鉄鋼視察ミッションによるタタ製鉄見学

#### 4 ビジネスミッションの企画・派遣

民間企業が参加し、途上国の投資環境の視察や技術提携の可能性を探ることを目的としたミッションを企画・派遣しました。

- インド西部（オリッサ州、西ベンガル州、ジャールカンド州）に鉄鋼視察ミッションを派遣（1月11日～19日）
- マリ、ガーナにジャトロファ視察ミッションを派遣（4月13日～19日）
- トルコに鉄鋼視察ミッションを派遣（11月5日～9日）

#### 5 第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）に参加

5月27日～30日、横浜にて開催された第4回アフリカ開発会議において日揮（株）と朝食会を共催した他、サイドイベントにて2つのセミナー：「MDG達成に向けた民間分野発展の革新的アプローチ」、「アジアの生産性運動のアフリカへの伝播」や、「ケニア紅茶&コーヒー・セミナー」及び「モータニア・セミナー」を後援しました。



バナナ繊維のハッピーを手にするウガンダ大統領

また、同会議参加の為訪日したケニア、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ各国の大統領にバナナ繊維で作られたハッピーを贈呈しました。

#### 6 2008自動車部品生産システム展に出展

6月18日～21日、東京ビッグサイトにて開催された「2008自動車部品生産システム展」に、アルゼンチン、マレーシア、メキシコ、モロッコ、南アフリカの自動車部品産業を紹介する「海外ビジネス情報コーナー」を出展しました。また、同会場にて日刊工業新聞社と共催した「グローバル自動車部品ビジネスセミナー」には、170名が出席しました。



自動車部品生産システム展での商談風景

#### 7 JICA 研修事業の実施

国際協力機構（JICA）研修事業として、下記研修を実施しました。

- マケドニア投資庁、モンテネグロ投資促進庁より各2名、計4名の研修員を招聘し、両国の投資環境や自動車部品産業を中心としたビジネス機会について日本企業に紹介しました。（9月29日～10月10日）

- ブラジルの民間企業、ペルーの日秘商工会議所より各1名、計2名の日系人研修員を招聘し、中小ジョイントベンチャー振興の為の研修を実施しました。（11月13日～12月10日）

#### 8 財務分析ワークショップの開催

UNIDO 東京事務所の職員が講師となり、プロジェクト評価並びに財務分析の手法を短期間で学ぶことを目的としたワークショップを東京にて6回開催、計85名が参加しました。

#### 9 その他事業

- 金沢にて「国際リサイクル会議」を後援（2月8日）
- 多摩美術大学の協力のもと、「バナナ・テキスタイル・セミナー」を主催（5月14日）
- ナイジェリアより環境スタディー・ミッションを受入れ（8月17日～23日）
- アフリカ中・西部貿易・投資促進合同ミッション（ナイジェリア、ガーナ、セネガル）に参加（9月13日～20日）
- ルワンダ、ウガンダにて、政府関係者、研究機関、NGO スタッフなどを対象に「バナナ・テキスタイル・セミナー及びワークショップ」を開催（10月7日～16日）
- 「グローバルフェスタ2008」に参加（10月4日～5日）
- 「国連デー」にてUNIDOの事業紹介（10月24日）
- 経済産業省との連携のもと、アジア素形材産業情報交換会第1回会合を開催（10月31日）
- 在京大使館向けに投資・技術移転促進のためのワークショップを開催、7大使館より9名の大使館担当官が参加（12月17日）



ナイジェリア環境スタディーミッション

from the world  
世界の国から

# ウガンダ共和国

Republic of Uganda



イッサ・ムカサ氏

ウガンダ投資庁  
投資促進部 部長

Mr. Issa MUKASA

Director, Investment Promotion Division  
Uganda Investment Authority (UIA)

首都 カンバラ  
面積 24.1万平方キロメートル(ほぼ本州大)  
人口 2,990万人(2006年 世銀)  
政体 共和制  
元首 ヨウェリ・カグタ・ムセベニ大統領  
言語 英語、スワヒリ語、ルガンダ語  
通貨 ウガンダ・シリング  
日本からの主な進出企業  
2社(シャツ・メリヤス加工、自動車)



## 「東南アフリカ共同市場」の中心的役割をになう国

### アフリカの真珠といわれる美しい国

東アフリカ高原に位置し、ビクトリア湖など豊富な水資源を有する風光明媚なウガンダは、アフリカの真珠と言われる美しい国です。

今回は4度目の来日となりましたが、石油代替エネルギーのジャトロファやバナナ繊維を使った新製品開発など、アフリカ開発会議の開催と併せこれまで以上の注目を得ることができました。

### 注目の新素材バナナ繊維

ウガンダではコーヒー、バナナ、綿花、紅茶など豊富な農作物を生産しています。特にバナナはインドに継ぐ世界第2位の生産量を誇ります。現在、多摩美術大学がバナナの茎から繊維を抽出して糸や紙、布などを作り新しい製品づくりを進めています。この試みは資源を有効活用し、地球環境にも優しい取り組みと言えるでしょう。わが国で生産されるオーガニックコットンと組み合わせることで、更に付加価値が高まるものと期待しています。

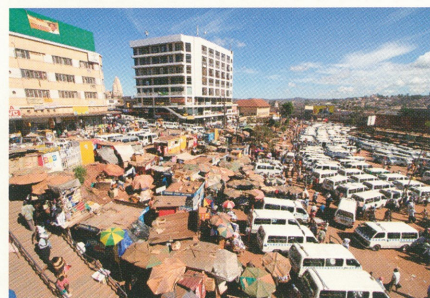
また、ナイル川の流域に位置する国

ナイル河上流のマーチソン滝  
(写真提供: (株)道祖神)

土は、豊かな淡水にも恵まれ、セラピアなどの養殖やワニ皮の加工品の生産なども行われています。鉱物資源の面でも、鉄鉱石やリン鉱石など多様な資源が産出されている他、金や石油の埋蔵も確認されています。

### 東南アフリカ経済の中心的役割をになう

ウガンダはアフリカ連合(AU)や東アフリカ共同体(EAC)に加盟し、3億人規模の巨大な市場がひかえています。自由経済の下で成長を続け、平均経済成長率は6%台で安定し、海外からの投資受け入れ環境の整備にも力を注いでいます。豊富な水量を利用し、2,700メガワットの電力供給が見込まれています。交通インフラの面でも、隣国ケニアの港湾都市モンバサへの鉄道・道路網の整備や、スーダン、コンゴへの鉄道の施設など、物流のキャパシティが大きく広がっています。また、国内20の大学から優秀な人材を供給することもできます。このような環境の下、ウガンダでは幅広い分野への海



カンバラのマーケット・タクシー乗り場  
(写真提供: 加倉大輔)

外からの投資を受け入れており、機器輸入に対する無関税制度や様々な優遇措置を講じています。

### 日本とのビジネスに期待

日本との関係では、オーガニックコットンを使用した製品や養蚕などで企業進出や技術移転がありました。また、最近では自動車ディーラーが進出し、国内の中古車の約9割は日本車が占めています。2012年までに日本からの直接投資が2倍に膨らむことを期待しています。

ウガンダは天然資源に恵まれた安全で美しい国です。手付かずの自然の中で数多くの野生動物が生息し、観光的にも魅力あふれる国です。是非ウガンダを訪れて、投資機会を見つけてください。



カンバラ中心部 (写真提供: Peter M)